

第42回県下中学校新人柔道大会

(北哲郎旗争奪戦)

実 施 要 項

- 1 主 催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 後 援 鹿児島県中学校体育連盟
- 3 期 日 平成30年2月17日(土)
※ 審判会議・監督会議 = 9時30分
※ 計量(女子) = 9時00分～9時30分
※ 開会式 10時
- 4 会 場 鹿児島アリーナ武道場
- 5 内 容
 - (1) 団 体 戦 1校1チーム = 監督1名、選手5名(他に補欠2名)
※ チームの編成は、3名以上とする。
※ チームの編成は自由配列とし、5名に満たないチームは後詰めとする。
※ 補欠の変更は相互入れ替えとする。
 - (2) 個 人 戦
 - ア 男子無差別 1校1名(団体戦出場しない学校は2名までの出場を認める。)
 - イ 女子体重別 1校8名以内で、各階級に出場を認める。(階級が重なってもよい。)※ 体重別 = 40kg級・44kg級・48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・70kg超級
- 6 参 加 資 格
 - ◎ 選手は、平成29年4月2日現在で14歳未満であって、鹿児島県内の中学校の生徒(2年生又は1年生)であること。
 - ◎ 平成29年度全日本柔道連盟の「団体登録」、「競技者登録」、「指導者登録」をしていること。
 - ◎ 監督は、学校長が認めた指導者であること。
※ 団体戦・個人戦の選手は男子に限る。
- 7 参 加 料 団 体 戦 = 1チーム 3,500円
個 人 戦 = 個人戦のみに出場する選手 500円
※ 大会当日受付に納入する。
- 8 競 技 規 則
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び少年大会特別規定(新規定)による。
 - (2) 「優勢勝ち」の判定基準
団体戦 = 「技有」または、「指導2差」以上とする。
個人戦 = 「技有」以上とする。
 - (3) 試合時間は、3分間とする。
 - (4) トーナメント方式による。
 - (5) 団体戦における勝ちチームの決定は、次の順による。
 - ア 勝ち点による。
 - イ 勝ち点が同等のときは、内容による。
 - ウ 内容も同等のときは、代表戦を行う。代表戦は、引き分けの試合の中から抽選で1試合を選び、ゴールデンスコアで決する。
- 9 表 彰 第1位から第3位までを表彰する。(第3位決定戦は行わない。)
- 10 参加申込み **1月18日(木)**
平成30年~~2月2日~~必着で、郵送及びメールの両方で必ず申し込みすること。
- 11 組 合 せ 主催者において決定する。
- 12 そ の 他
 - (1) 脳震盪対応について
 - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
 - (2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
 - (3) 選手の参加については、あらかじめ各保護者の承諾を得ること。
 - (4) ゼッケンは、必ず周囲及び対角線にも縫いつけること。
 - (5) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。
 - (6) 当日は駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
 - (7) 柔道衣・帯については九州・全国大会では全柔連規格の柔道衣を着用になります。

第42回 県下中学校新人柔道大会 (北哲郎旗争奪戦)

申 込 書

学校名	中学校	校長名	印
監督	氏 名	全柔連メンバーID	

	位置	氏 名	学年	体重 (kg)	全柔連メンバーID
団 体 戦	大 将				
	副 将				
	中 堅				
	次 鋒				
	先 鋒				
	補 欠				
	補 欠				
個人戦(男子)					
女 子 個 人 戦	kg超級				
	kg 級				
	kg 級				
	kg 級				
	kg 級				
	kg 級				
	kg 級				
	kg 級				

上記の者は、本校在学中の生徒であり、定期健康診断の結果、異常を認めないので大会出場を承諾いたします。

平成 30 年 月 日